

会報順番番号Ⅳ－２１

上下水道部門

三翠建設コンサルタント株式会社 水野 伊織

水道施設の更新について

1. はじめに

私が所属している三翠建設コンサルタント（以下、三翠）は、上水道を専門とするコンサルタント業務、計画、実施設計、現場監理を行っています。創立以来、48期を迎え岐阜県内においては老舗の会社であるかと思えます。私自身は三翠に入社して17年目となります。この会報では水道事業の現状と課題、今後の対策について説明していきたいと思えます。

2. 水道事業の現状

現在、水道事業は人の暮らしや企業活動を支えるライフラインとして安全・安心な水を供給していますが、将来を見通すと人口減少に伴う水需要の減少や、今後も増加していく老朽化した水道施設の更新需要、大地震などの災害に対する備えなど、課題は山積みしています。

平成30年第197回臨時国会においては、平成30年12月6日に成立、同12月12日に「水道法の一部改正に関する法律（平成30年法律第92号）」が公布され、人口減少に伴う水需要の減少、水道施設の老朽化などの課題に対応し、水道の基盤の強化を図るため、所要の措置を講ずるといった改正の趣旨となりました。

こうした状況のなか、三翠は上水道コンサルタントとして水道ビジョンの策定、上水道事業基本計画の策定、経営戦略といった業務委託を事業体様より受注しています。

3. 水道事業の課題

厚生労働省においては、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン（平成16年策定、平成20年改訂）」を全面的に見直し、50年後、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに、取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示した「新水道ビジョン」を策定しました。

水道事業の主な課題を、水道の理想像である「安全」、「強靱」、「持続」の観点より分類すると以下の点が考えられます。

「安全」・・・良質な水源水量の確保、原水、浄水の水質検査の徹底

「強靱」・・・施設の地震災害対策、老朽施設の対策、災害時における給水対応

「持続」・・・施設規模、運用の見直し、資産管理による適正な施設更新、

人口減少に伴う料金収入減少のため財源の確保

〔日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先〕

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F

TEL：0583-79-0580 FAX：0583-85-4316 Email:gcea9901@ybb.ne.jp

4. 今後の対策

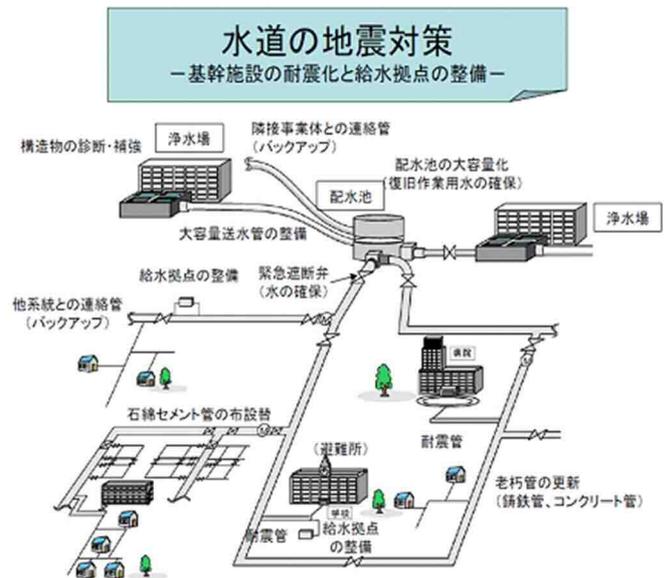
水道事業は公営企業として運営されており、その事業運営は主に料金収入を財源とする独立採算制により行っていくことが原則とされています。平成30年12月に改正された水道法第22条の4では「水道事業者等は、長期的な観点から、水道施設の計画的な更新に努めなければならないこととし、水道施設の更新に要する費用を含む収支の見通しを作成し公表するよう努めなければならないこととする」とされ、健全に事業を継続していくためには、経営の効率化に努めながら必要とされる投資を行い、施設の更新を進めていく必要があります。よって、水道事業の基盤強化を図るため、広域連携や、官民連携の検討、アセットマネジメント手法を用いた、効率的な投資による水道施設の更新、規模の適正化（ダウンサイジングの検討）、水道料金の適正化の検討、水道施設の耐震化などを推進していく必要があります。

5. おわりに

将来の水道事業の動向を見据え、安定した水道事業経営の持続、常時、および災害時においても安全な水の供給ができるよう、各事業体様に最適な方法をご提案していきたいと思っております。



以上



引用文献：1)厚生労働省 HP 水道対策資料、2)水道法

[日本技術士会岐阜支部 会報の情報連絡先]

〒509-0108 各務原市須衛町1-179-1 テクノプラザ5F

TEL：0583-79-0580 FAX：0583-85-4316 Email:gcea9901@ybb.ne.jp